

平成30年度予算の審議

特別会計予算

質問 江刺のバス路線の見直し状況と運転免許証返納者への対応は。

答弁 平成29年度に市営バス交通計画の基準により、平均利用者が1日あたり1・5人未満の路線は、土日祝日を廃止することとしており、江刺の7路線を廃止。30年度見直す予定はない。

時刻表の見直しは可能ではあるが、運転手不足等の理由で厳しい状況である。

運転免許証返納者への運賃割引制度は、運転経歴書の提出により3年間、運賃の半額の割引をしているが、期間の延長は、交通弱者対策上からも関係部署と今後検討したい。利用状況の把握についても前向きに検討する。

質問 岩谷堂北上線のバス路線廃止による対応は。

答弁 平成30年4月から代替路線運行補助を使い、岩谷堂から稲瀬十文字までの間を胆江地区タクシー業協同組合

に依頼し、月水金の週3回の運行で、乗合いタクシーを試行的に走らせる予定。30年度に利用者や振興会からの要望等を聞き、31年度以降の運行に反映をしたい。



江刺を循環する奥州市営バス

質問 衣川における上水整備状況について伺う。

答弁 3年前から送水管の整備、平成29年度から配水池本体工事に着手し、30年度に電気、機械設備工事、31年4月から本格通水を予定。ほぼ、全域を上水に切り替える予定だが、南股簡水地域の一部はそのまま残る予定。

介護保険特別会計

質問 平成30年度、介護保険料の月500円の値上げが予定されているようだが、値上げ分が予算書に反映されているか。

答弁 まだ値上げの条例が改正されていないので、反映されていない。条例改正後、補正予算を編成する。

質問 介護保険に対する国の負担が減り、県や市の負担が増えて、保険料が上がる。国が補助を増やすよう、国への働き掛けをすべきでは。

答弁 市長会等で要望している。

質問 要支援1・2の方に介護認定を受けなくて、総合事業のチェックシートでサービスを提供できるが、実態はどうなっているか。

答弁 生きがいデイサービスの約22

0人の利用者のうち、要介護認定の方が6%、要支援の方が64%、総合事業対象の方が9%となっている。ほとんどの方が総合事業のデイサービスを利用できる。

質問 生きがいデイサービス等を含めて、無理やり介護認定を受けさせないで、福祉施策の中で一定の手当をするべきだ。

答弁 総合事業は市の指定であり、介護保険の中で市の事業として制度的に対象者として利用できるので、改めて福祉施策で行わない。

病院事業会計

質問 産後ケア備品とはどのような内容か。

答弁 平成30年度からの市の新規事業で、出産退院後の女性の育児に関してケアする事業を水沢病院で行うためのものである。

質問 経営の現状に対する改革プランを出すべきでは。

答弁 点数加算の付く診療、他の医療機関との連携、経費節減、入札・納入の共同化、人事交流などを進めていく。